

## 土砂災害にご注意ください

集中豪雨や大雨によるがけ崩れや地すべりなど、土砂災害から身を守るためには、普段から土砂災害に対する備えが必要です。日ごろから、家の周りの土砂災害危険箇所や避難経路、避難場所を確認し、災害に備えましょう。

なお、お住まいの地域の危険箇所については、市のホームページをご覧ください。市民安全課または土木課へお問い合わせください。

### ⚠ 気象情報などの情報を入手しましょう

災害時の避難行動を適切に行うために、速やかにテレビやラジオ、インターネット、携帯電話などにより、ご自身で気象情報や避難情報を入手することが大切です。

### ⚠ こんな前兆に注意!

- ・ がけから水が噴き出したり、小石が落ちてきたりする
- ・ 地面にひび割れが起きたり、樹木や電柱などが傾いたりする

このほかにも、土砂災害の発生前には普段と違う現象が見られる場合がありますので、注意してください。

☎ 市民安全課防災係 ☎364-1111(内線245)  
土木課建設係 ☎364-1118

## 一軒一灯運動

～小さな灯りが地域の大きな安全に～

市では「一軒一灯運動」の推進に取り組んでいます。これは、各家庭で玄関灯や門灯を一晩中点灯して地域全体を明るくし、犯罪が発生しにくい環境を作る防犯ボランティア運動です。



実施前



実施後 ※イメージ



20ワットの電球を12時間点灯した場合の電気料金は、1カ月180円前後で1日あたりおよそ6円です。

犯罪者（特に空き巣など）は暗がりをおもむくため、夜間は危険が増します。地域で防犯活動に取り組むことで、犯罪者に「この地域での犯行は無理だ」と思わせることができ、また、地域の防犯意識も高まります。

安心・安全な地域づくりのために、各家庭や事業所までのご協力をお願いします。

☎ 市民安全課市民生活係 ☎364-1111(内線244)



▲改修し、竣工当時の美しさを取り戻した大講堂

美術館には、常設展示室と企画展示室があり、常設展示室には杉村惇氏の作品が展示されます。また、アトリエの様子を再現したコーナーや、絵画に描かれた古いランプなどを展示するコーナーもあり、「画家・杉村惇」を身近に感じられる美術館になります。企画展示室は、美術館で企画する特別展のほか、貸ギャラリーとして個人やサークルで絵の展示会などに利用することができます。

現在改修工事を行っている公民館本町分室は、公民館と美術館が一体となった施設です。主に2階が美術館、1階が公民館として利用いただけます。

シリーズ 塩竈市杉村惇美術館③  
親しみやすい、みんなが集まる美術館に

そのほか、自由にくつろげるサロンもあり、一息つきたいとき、のんびり過ごしたいときなどにぴったりの場所です。

大講堂は、美術館の集会施設として特別展関連の催しが行われるほか、これまで同様に芸術文化活動の場として、サークルなどの活動に利用いただけます。

また、1階の講習室や和室は、今までのように、公民館として利用できます。

現在の2期工事では、エレベーターの設置工事や、トイレの改修を行っています。市の指定文化財でもある建物の良さを残しながら、使いやすい、バリアフリーを目指した改修を行っています。

懐かしさと新しさが共存する塩竈市杉村惇美術館。塩竈の新たな芸術文化の発信基地として、また、市民の憩いの施設として、11月末の開館を目指し準備作業を進めています。

☎ 生涯学習課 ☎362-2556